



“リそにゃ”と

確定拠出年金・加入者の皆さまへのお役立ちニュースレター

まなぼ！ Study

2023

December

12月

制度〈基本〉

運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

2024年から始まる、新NISA制度

NISAとは、投資信託や株式等を購入して得られる配当金や売買益等が非課税となる少額投資非課税制度のことです。2024年から大幅に制度が変更されます。新しいNISA制度のポイントを確認しておきましょう。



新NISA制度のポイント

●年間投資枠が大幅に拡大

つみたての投資枠がこれまでの3倍、一般の投資枠が2倍に広がり、合計で最大年間360万円まで利用できるようになります。

●2種類の投資枠の併用が可能

「つみたて投資枠」と「成長投資枠」の2つの枠を併用できるようになります。

●非課税保有限度額の引上げ

1人あたり合計1,800万円の生涯非課税限度額が設定され、成長投資枠ではそのうち最大1,200万円まで利用可能です。NISAを利用していた商品を売却すると、空いた投資枠は再利用が可能です。

●非課税保有期間と口座開設期間が無期限に

非課税で保有できる期間も、口座を開設できる期限も、制限が無くなります。

※現在NISAやつみたてNISAの口座をお持ちの場合も、来年1月からの新NISAは別枠で利用できます。

※NISA口座の開設は1人1口座です。金融機関を変更したい場合は1年単位で変更が可能です。

新NISA

	つみたて投資枠	成長投資枠
新規買付期間	2024年1月から	
年間投資枠	120万円	240万円
非課税保有限度額(総枠)	1,800万円 ＜うち成長投資枠1,200万円＞ (枠の再利用可)	
対象商品	長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託	上場株式・投資信託等(除外あり)
2種類の枠の利用	併用可	
非課税保有期間	無期限	
口座開設期間	無期限	
対象年齢	18歳以上	

NISA、マッチング拠出(企業型DC)、iDeCo、どれが良い？

いずれも金融商品へ投資を行う際の運用益が非課税となる制度ですが、大きな違いがあります。

NISAは、積み立てた資産をいつでも引出して現金化できます。

マッチング拠出(企業型DC)とiDeCoは、高齢期の生活資金を準備する目的の制度のため、原則として60歳になるまで引出することはできません。一方で、拠出した金額は全額所得控除の対象となり、所得税や住民税が軽減されるメリットがあります。これは働く現役世代にとって大きなメリットと言えます。

それぞれのメリットを理解して、制度を賢く使い分けましょう。

	NISA (2024年以降)	マッチング拠出 (企業型確定拠出年金)	iDeCo (個人型確定拠出年金)
税制優遇			
拠出金	—	掛金は所得控除の対象	掛金は所得控除の対象
運用益	非課税	非課税	非課税
引出し	いつでも可	原則60歳以降(加入者等期間10年以上の場合。年齢は規約により異なる)	原則60歳以降(加入者等期間10年以上の場合)
新規投資(拠出)可能期間	一生涯	70歳まで(規約により異なる)	65歳まで(※)

(※) 国民年金の被保険者のみ(60歳以降は、厚生年金保険の被保険者または国民年金の任意加入被保険者)

★新NISAについて詳しくは、「リそな確定拠出年金定期便2023年5月号」をご覧ください。



“リそにゃ”とまなぼ！は 毎月発行しています。

バックナンバーはこちら
からご覧いただけます。



<https://www.resona-tb.co.jp/401k/pop/channel/oshiete/>

2023年12月発行

リそな銀行 信託年金営業部
DC運営管理グループ

〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

リそな銀行 確定拠出年金コールセンター

☎ 0120-401-987+「2#」

本レターの無断引用・転載はお断りします。